

第3章 外房線（大網～千葉）、東金線

このシリーズは、京葉線の完全走破と外房線の今後の展開を勘案して試みた。成東から二俣新町までの53.3Kmの道のりである。

なお、外房線の蘇我～千葉は内房線で踏破済みため、記載割愛。また、蘇我～二俣新町は京葉線のため、記載割愛。

第1節 10月5日（土）：東金線（成東～大網）晴れ

成東(8:47)～求名～東金(10:55)～福俵(12:10)～大網



※成東駅

初日は、平成14年10月5日（土）、南林間を始発5時半で総武線・東金線を経由して現地には8時47分に到着した。船橋辺りまでは天気がよかったが、千葉、蘇我、大網になるにつれてガスが発生し視界が悪くなって来た。でも、成東駅を降りる頃から曇り空の中にお日様が指して来た。電車は総武本線と同一ホームの先頭の辺りに到着した。そのため、伊藤左千夫の記念碑を本日で3回見ることとなり、この駅は愛着を感じられた。この時期は運動会のシーズンでもあり、うす曇りの中、公平幼稚園では運動会が行なわれていた。そろそろ求名（ぐみょう）駅と思い、千葉学芸高校（10時15分頃通過）を左折し国道126号線に出たが、少し行き過ぎてクリアできず。



※求名駅、求名駅への路



※東金駅、東金駅への路

東金駅には 10 時 55 分到着。東金から福俵まで道に迷う。この迷いにより、本日予定の蘇我駅まで走破できないと思った。下手をすると、誉田辺りかもしれない。でも、東金路の自然を満喫することできた。「東金路 田舎のようだ 秋の道」左左と進み、やっと JR 線を見つけた。30 分位時間をロストしたが、12 時 10 分頃、中島踏切と目と鼻の先にある福俵駅（無人駅）に到着することができた。大網駅は東金線と外房線の合流駅であるが、ホームが一体化されておらず、八の字型でホームが連なる素朴を漂わせる駅であった。



※福俵駅



※大網駅、大網駅界限

第2節 10月5日（土）：外房線（大網～鎌取）

大網～土気（とけ）～誉田（ほんだ、16:10）～鎌取(17:55)

大網駅からは大網街道(県道 20 号)を通り、JR 線とジグザグ歩きで鎌取駅に向った。大網から土気までは山越えであり、生憎タイムリーに食堂を見つけられなかった。それで、1 時半頃コンビニで弁当を買い近くの栗林で一服することとした。土気（とけ）と鎌取駅が県道 20 号に比べ左側に、誉田（ほんだ）駅は右側にあった。土気駅は道路に面してあったにもかかわらず、死角に入り見つけることができず、誤って北側に 300m 位進む。変だと思い、今日始めて通行人に聞く。昭和の森、土気ふれあいの道の案内図で頭が混乱していて方向性を誤った。



※土気駅、誉田駅

誉田駅には 16 時 10 分に到着。鎌取駅は約 4 Km 先で、県道 20 号に沿ってあることを地図で確認後、終着駅を誉田駅から鎌取駅に延長することとした。鎌取駅の 300m 位

手前で JR 線が頭上にあった。これが目印となった。鎌取駅には 17 時 5 分。夏場であれば、蘇我まで行けるが、この時期になると 5 時を過ぎると急に暗くなるので、鎌鳥で打ち切ることにした。自宅には 20 時 5 分。万歩計は 54,341 歩だった。成東から鎌取の営業距離は 27.9Km、久し振りに充実する一日だった。



※鎌取駅

第3節 10月19日(土)：外房線(鎌取～蘇我) 曇り

鎌取～蘇我

鎌取からの続きは、10月19日(土)、途中雨に会う覚悟で挑戦した。考えてみれば、自由自在に使える時間などそうあるものでない。最近時間が貴重に思える今日この頃である。死が近いのであろうか？体調がいまいちであったが、外房線・京葉線に挑戦することとした。

朝6時半頃の電車で新宿に向う。今日は、蘇我駅走破後は京葉線の残りを歩くので、東京駅経由で蘇我に行き、そこから外房線で鎌取に出る。蘇我での乗り継ぎ時間を調べなかったにもかかわらず、5分位の待ち時間で乗り継ぐことができた。ラッキーであった。鎌取駅の西口はととてもゆったりとしたモダンな感じのターミナルであった。運良くうす曇から日が指して来た。丁度前回の成東を出たときと同じであった。



※蘇我駅

鎌取駅(藤原鎌足)と蘇我駅(蘇我蝦夷)は、郷土の歴史を紐解いたわけではないが、大化の改新に登場して来る人物を参考にしてつけられたのか。そのようなことを考えているうちに、すぐ止むがこの区間で小雨に逢う。蘇我駅に10時35分到着。この駅は内房線走破のとき来たことがあるので懐かしく思えた。